

体験活動

ガイドブック


プログラム企画・活動参考資料

野外活動ガイド

屋内活動ガイド

自然の家外施設ガイド

低学年向け活動ガイド

活動名	キャンドルサービス (CS)			
概要	<p>厳粛な雰囲気をつくるには、キャンプファイアー以上の効果があります。屋内で実施するため、気象条件に左右されることなく、また、声も通りやすいので参加者の集中力を保ちやすいという利点があります。</p> <p>キャンプファイアーに比べて設営の負担が少ないことや全員に分火しやすいなど運営にかかる労力が少なくてみます。</p>			
時期	通年	所要時間	1～2時間	人数 300人程度まで
活動の持つ効果(特質)	<p>①仲間との親睦を図ることができる。</p> <p>②厳粛な雰囲気を経験することができる。</p> <p>③「火」をテーマに、自然への畏敬の念をはぐくむ。</p>			
準備物	青少年自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの	
	<p>①ラジカセ (テープ, CD, MD, ラジオ)</p> <p>②ワイヤレスアンプ・マイク</p> <p>③グラビノーバ, ギター</p> <p>④営火長・女神の衣裳と杖</p> <p>⑤延長コード ⑥CD (音楽ソフト)</p> <p>⑦燭台 ⑧手持ち燭台</p>		<p><input type="checkbox"/>大ろうそく (燭台用・2本)</p> <p><input type="checkbox"/>小ろうそく (個人の手持ち用)</p> <p>※ろうそくは売店で購入可能</p> <p>大2本セット600円, 小5円 (アルミ箔付き)</p>	
手順	<p>①団体の担当者や自然の家職員との打合せを行います。</p> <p>・場所の確認, 道具の貸出, 後片づけの方法など</p> <p>②購入物品の受け取り, 会場設営を行います。</p> <p>・ビニールシート (青シート) を中央に敷いて, その上にキャンドル台を置き, ろうそくをセットします。</p> <p>③手持ち用のろうそくを使用する場合は手持ち用の燭台を準備します。</p> <p>・売店で小ろうそくを購入された場合には付属のアルミ箔を使って燭台を作ります。</p> <p>④活動後は, 会場の片づけと清掃を行い, 借用物品を返却します。</p>			
留意点	<p>①自然の家職員によるプログラムの進行案立案の助言は可能ですが, 当日の指導や進行は団体が行います。</p> <p>②事前に, CSの概略や意義, 心構えについて説明・指導することで, プログラムをスムーズに進めることができます。</p> <p>③手持ちキャンドルを利用する場合には, 火の付け方や持ち方の指導を事前に行うようにします。</p> <p>・炎は上に上がりますから, 手持ち燭台を下に向けないように注意します。</p>			
展開例	<p><ねらい></p> <p>参加者相互及び参加者と引率者の親睦を図る。</p> <p>第1部 迎火の儀式 (15分くらい)</p> <p>①キャンドルトーチを持った火の神入場</p> <p>②営火長の話しの後, 燭台に点火</p> <p>③歌 (全体合唱)</p>			

<p>第2部 親睦の火（交歓のつどい、50分～60分くらい）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全体レクリエーション ②グループごとのスタンツ ③全員で動くことができるダンスまたはゲーム ④歌（参加者の動きが、「動」から「静」に向かうようにしていく） <p>第3部 分火の儀式</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参加者の手持ちのキャンドルに分火 ②終わりの話（参加者または引率者代表） ③退場

衣裳については60Pを参照して下さい。



手持ち燭台



大きな燭台

ビニールシート（青シート）を中央に敷いて、その上にキャンドル台を置きます。